



神奈川県

KANAGAWA

かながわグランドデザイン



実施計画 プロジェクト編

～いのち輝くマグネット神奈川の実現に向けて～

2012-2014



平成24年3月

県民の皆様へ

平成23年3月に発生し、わが国に未曾有の被害をもたらした東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故は、本県の県民生活や経済活動にも大きな影響を及ぼしました。

県は、今回の大震災の教訓を活かした防災対策の強化やエネルギー政策の見直しなどの喫緊の課題に加え、確実に到来する超高齢社会への備えなどのさまざまな課題にも的確に対応していくため、県が進める政策を分かりやすくお示しする総合計画「かながわグランドデザイン」を新たに策定することとしました。これまで、県民や団体、市町村などの皆様から幅広くご意見を伺いながら、総合計画審議会でご審議を頂き、策定作業を進めてまいりました。



そしてこのたび、平成24年神奈川県議会第1回定例会で「基本構想」についてご議決を頂き、「かながわグランドデザイン」の「基本構想」及び「実施計画」を策定しました。

この「実施計画」は、「基本構想」の実現に向けて、2012(平成24)年度から2014(平成26)年度までの3年間に県が取り組む政策をお示したものです。特に県の重点政策については、「いのち」と「マグネット」の視点から、先進性や発展性のある分野横断的に取り組む政策を「プロジェクト」にまとめ、そのねらいや具体的な取組み、工程などもお示ししています。

また、計画の推進に当たっては、着実な推進と進行管理を行っていくため、施策の実施状況について政策評価を行い、その評価に基づき政策運営の改善を図る「政策のマネジメント・サイクル」を取り入れ、効果的・効率的な政策運営を図ってまいります。

今後とも、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成24年3月

神奈川県知事 川野 新也

かながわグランドデザイン

実施計画 プロジェクト編

～いのち輝くマグネット神奈川の実現に向けて～

この冊子では、「県民」、「県」及び「神奈川」を次の意味で使用しています。

「県民」: 神奈川県で活動する者すべてを含む総称とし、住民、勤務者、法人、団体を含みます。(なお、一人ひとりの個人や住民の活動に着目する場合は、「県民」を個人の意味で用い、「県民、企業」などと列記します。)

「県」: 行政としての神奈川県を指します。

「神奈川」: 行政だけではなく、県民や県土などを含む県全体を指します。

目 次

策定に当たって	2
プロジェクト	5
柱Ⅰ 神奈川からのエネルギー政策の転換	8
柱Ⅱ 災害に強く安全で安心してらせるまちづくり	11
柱Ⅲ いのちが輝き誰もが自分らしくらせる社会づくり	16
柱Ⅳ 次世代を担う心豊かな人づくり	25
柱Ⅴ 人を引きつける魅力ある地域づくり	30
柱Ⅵ 神奈川のポテンシャルを生かした活力創出	40
プロジェクトをとりまく状況	47

策定に当たって

① 計画策定の趣旨

県では、県政運営の総合的・基本的指針を示す総合計画として、2007（平成19）年に「神奈川力構想・基本構想」及び「神奈川力構想・実施計画」を策定し、将来の人口減少社会を見据えた着実な備えを進めてきました。

しかし、2011（平成23）年3月に発生した東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故は、国難とも言える未曾有の被害をもたらし、県民生活や経済活動などの様々な局面に影響を与えたことから、社会環境が変化しました。

そこで、こうした影響などを踏まえて総合計画の見直しを行い「かながわグランドデザイン」の「基本構想」と「実施計画」をとりまとめました。

② 計画の性格と役割

「実施計画」は、2025（平成37）年を目標年次とした「基本構想」の実現に向けて、2012（平成24）～2014（平成26）年の3年間に取り組む政策を示したものです。

県の重点政策を分野横断的にまとめ、ねらいや具体的な取組み、工程などを示した「プロジェクト編」と、県の政策の全体像を総合的・包括的に示す「主要施策」などをまとめた「主要施策・計画推進編」で構成しています。

「実施計画」を示すことにより、県民、NPO、企業、団体、市町村などと、県の政策について、情報や目的の共有化を図り、県民総力戦による取組みを進めます。

③ 計画期間

2012（平成24）～2014（平成26）年度（3年間）

基本構想

目標年次 2025（平成37）年

● 基本理念

「いのち輝くマグネット神奈川」を実現する

● 神奈川の将来像

- 1 行ってみたい、住んでみたい、人を引きつける魅力あふれる神奈川
- 2 いのちが輝き、誰もが元気で長生きできる神奈川
- 3 県民総力戦で創る神奈川

● 政策の基本方向

- 1 政策展開の基本的視点
- 2 政策分野別の基本方向
- 3 地域づくりの基本方向

基本理念・将来像の達成

実施計画

2012（平成24）～2014（平成26）年

● プロジェクト編

- 柱Ⅰ 神奈川からのエネルギー政策の転換
- 柱Ⅱ 災害に強く安全で安心してらせるまちづくり
- 柱Ⅲ いのちが輝き誰もが自分らしくらせる社会づくり
- 柱Ⅳ 次世代を担う心豊かな人づくり
- 柱Ⅴ 人を引きつける魅力ある地域づくり
- 柱Ⅵ 神奈川のポテンシャルを生かした活力創出

● 主要施策・計画推進編

- 1 主要施策
(1) 政策分野別の体系 (2) 地域別の体系
- 2 計画推進

4 「いのち輝くマグネット神奈川」とは

「基本構想」では、県民一人ひとりのいのちを輝かせるとともに、人やものを引きつける魅力を持った神奈川の実現をめざして、「基本理念」として「『いのち輝くマグネット神奈川』を実現する」を掲げました。

「実施計画」では、「いのち」と「マグネット」の視点から、先進性や発展性を持った県の重点政策を分野横断的にまとめた「プロジェクト」を中心として、「基本理念」の実現に向けて取り組んでいきます。

基本理念

「いのち輝くマグネット神奈川」を実現する

神奈川の将来像

- 1 行ってみたい、住んでみたい、人を引きつける魅力あふれる神奈川**
地域の魅力を最大限に生かし、人々が何度も訪れてみたい、住んでみたいと思うような、人を引きつける神奈川づくりを進めます。
- 2 いのちが輝き、誰もが元気で長生きできる神奈川**
災害や犯罪から県民のいのちを守るとともに、病気にならない取組みを進め、県民のいのちを輝かせ、誰もが元気で長生きできる神奈川づくりを進めます。
- 3 県民総力戦で創る神奈川**
県民、NPO、企業、団体、市町村などと情報や目的を共有しながら、神奈川の総力を結集し、新たな政策をとともに創り、それを全国の先駆けとなる「神奈川モデル」として発信します。

5 「いのち」と「マグネット」の視点

ライフステージをイメージした8つのキーワードを用いて、「いのち」と「マグネット」の視点から、プロジェクトの柱ごとに政策のねらいや目的を分かりやすく示すこととしました。



6 実施計画の構成

プロジェクト編

プロジェクトは、喫緊の課題に対応するため、先進性や発展性を持った重点施策を分野横断的にとりまとめ、「いのち輝くマグネット神奈川」を実現していくための具体的な取り組みとねらい、工程などを示したものです。

政策のまとめりごとに6つの柱を立て、27のプロジェクトを位置づけました。

柱Ⅰ、Ⅱは、新たに喫緊の対応を図ることとしたエネルギーや災害関連のプロジェクト、柱Ⅲ、Ⅳは、一人ひとりの人に着眼したプロジェクト、柱Ⅴ、Ⅵは、地域や県土全体に関わるプロジェクトをまとめています。

柱Ⅰ 神奈川からのエネルギー政策の転換	(プロジェクト 1～2)
柱Ⅱ 災害に強く安全で安心してらせるまちづくり	(プロジェクト 3～5)
柱Ⅲ いのちが輝き誰もが自分らしくらせる社会づくり	(プロジェクト 6～12)
柱Ⅳ 次世代を担う心豊かな人づくり	(プロジェクト 13～15)
柱Ⅴ 人を引きつける魅力ある地域づくり	(プロジェクト 16～22)
柱Ⅵ 神奈川のポテンシャルを生かした活力創出	(プロジェクト 23～27)

主要施策・計画推進編

1 主要施策

主要施策は、プロジェクトで取り組むものも含め、県が着実に実施していく施策・事業を体系化することにより、県の政策の全体像を総合的・包括的に示したものです。

「基本構想」の「政策の基本方向」に沿って、7つの政策分野別に体系化した「政策分野別の体系」と、施策・事業のうち各地域で展開するものを5つの地域政策圏別に体系化した「地域別の体系」を示しています。

(1) 政策分野別の体系

- Ⅰ エネルギー・環境
- Ⅱ 安全・安心
- Ⅲ 産業・労働
- Ⅳ 健康・福祉
- Ⅴ 教育・子育て
- Ⅵ 県民生活
- Ⅶ 県土・まちづくり

各地域で展開する施策・事業

(2) 地域別の体系

- 川崎・横浜地域圏
- 三浦半島地域圏
- 県央地域圏
- 湘南地域圏
- 県西地域圏

2 計画推進

計画を着実に推進し、進行管理を行っていくためのしくみと、プロジェクトの達成度を測る数値目標、プロジェクト事業費、総合計画を補完する主な個別計画・指針を示しています。

(1) 計画の進行管理と数値目標 (2) プロジェクト事業費 (3) 主な個別計画・指針

プロジェクト

プロジェクトは、喫緊の課題に対応するため、先進性や発展性を持った重点施策を分野横断的にとりまとめ、「いのち輝くマグネット神奈川」を実現していくための具体的な取組みとねらい、工程などを示したものです。

政策のまとめりごとに6つの柱を立て、27のプロジェクトを位置づけました。また、柱ごとに、「いのち」と「マグネット」の視点から、ライフステージをイメージしたキーワードを使い、そのねらいをわかりやすく示しました。

柱Ⅰ	神奈川からのエネルギー政策の転換	8
	1 かながわスマートエネルギー構想の推進	9
	2 エネルギー関連産業の集積促進	10
柱Ⅱ	災害に強く安全で安心してらせるまちづくり	11
	3 津波被害を軽減する対策の強化	12
	4 大規模災害などに備える災害対応力の強化	13
	5 犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり	14
柱Ⅲ	いのちが輝き誰もが自分らしくらせる社会づくり	16
	6 高齢者が生き生きとくらせる社会づくり	18
	7 県民が安心できる保健・医療体制の整備	19
	8 ところといのちを守るしくみづくり	20
	9 障害者の地域生活を支えるしくみづくり	21
	10 男女がお互いを尊重しともに活躍できる社会づくり	22
	11 多文化共生の地域社会づくり	23
	12 健康で豊かな人生を築くスポーツ振興	24
柱Ⅳ	次世代を担う心豊かな人づくり	25
	13 子ども・子育て応援社会の推進	26
	14 子どもの安心のための総合的な支援	27
	15 明日のかながわを担う人づくり	28
柱Ⅴ	人を引きつける魅力ある地域づくり	30
	16 地域資源を活用したにぎわい拠点づくり	32
	17 行ってみたい神奈川の観光魅力づくり	34
	18 文化芸術による心豊かな神奈川づくり	35
	19 NPOの自立的活動と協働の推進	36
	20 「水のさと かながわ」づくり	37
	21 神奈川の自然環境の保全と活用	38
	22 持続可能な環境配慮型社会づくり	39
柱Ⅵ	神奈川のポテンシャルを生かした活力創出	40
	23 競争力の高い産業の創出・育成	42
	24 産業人材の育成と就業支援の充実	43
	25 神奈川を世界にアピールする国際戦略	44
	26 神奈川の特徴を生かした農林水産業の展開	45
	27 活力と魅力あふれるまちづくりと交通ネットワークの充実	46

※各プロジェクトのページの右上に、プロジェクトを実施する局等をマークで示しています。
 ※プロジェクトをとりまとめる局等を、一番左に表示しています。

					
					

柱のページ

柱の名称

ライフステージをイメージした8つのキーワード(生む、育む、守る、活かす、創る、楽しむ、尊ぶ、継ぐ)を使い、プロジェクトの柱ごとに施策のねらいや目的を、「いのち」と「マグネット」の視点からわかりやすく示しています。

柱に位置づいている個々のプロジェクトを示しています。

プロジェクトに位置づけた取組みの中で、全国の先駆けとなる先進的な取組みである「神奈川モデル」を、コラムで紹介しています。

柱I 神奈川からのエネルギー政策の転換

太陽光発電などの導入やエネルギー関連産業の集積などを促進し、地域において将来にわたり安全・安心なエネルギーを安定的に確保する神奈川をめざします。

いのちとマグネットの視点

- エネルギーの地産地消の新しいモデルを“生む”
- 子どもたちのエネルギーを大切にすることを“育む”
- 電力供給不足や災害から県民のくらしを“守る”
- エネルギー関連産業を集積し、新しい技術や雇用を“創る”
- 持続可能なエネルギーを次世代に“継ぐ”

プロジェクト

1 かながわスマートエネルギー構想の推進

2 エネルギー関連産業の集積促進

分散型エネルギー体系の構築

エネルギー政策転換を促した県内産業活性化

コナカワモデル

かながわスマートエネルギー構想の推進

将来にわたり安全・安心なエネルギーを安定的に確保するため、地域において効率的なエネルギー供給を実現する、かながわスマートエネルギー構想を提唱しています。

原子力発電に過度に依存しない
環境に配慮する
地産地消を推進する

3つの取組み

- 創エネ 電力供給量の拡大
- 蓄エネ 電力のピークシフト
- 省エネ 電力のピークカット

柱ごとにプロジェクトの取組みの方向性やねらいを記述しています。

イメージを示す写真などを掲載しています。

プロジェクトの構成事業を示しています。

プロジェクトの実施により、達成をめざすプロジェクト全体のねらいを示しています。

プロジェクトのページ

プロジェクト番号とプロジェクト名

プロジェクトの構成事業を実施することにより達成をめざす「プロジェクトのねらい」を示しています。

プロジェクトの構成事業を示しています。

主な取組内容を示しています。

1 かながわスマートエネルギー構想の推進

プロジェクトのねらい

- 分散型エネルギー体系の構築
- 太陽光発電などの導入拡大による電力の地産地消の推進
- 安全・安心なエネルギーの安定確保

具体的な取組み

1 太陽光発電など再生可能エネルギー等の導入促進

2 省エネによる電力需要の軽減

3 EVの活用など蓄エネによる電力需要の平準化

4 エコタウンの整備推進

① 分散型エネルギーシステムのモデルを県民にアピールするため、県有地を再生可能エネルギーに関する技術やノウハウを持つ民間事業者に売却し、太陽光発電を設置した住宅や交通設備などでまちなみが形成されるエネルギーを地産地消するエコタウンの整備などに取り組みます。

プロジェクトの「とりまとめ局」及び「関連局」をマークで示しています。(詳細は、左頁目次下欄を参照。)

プロジェクトに関連する写真を掲載しています。

各年度の具体的な施策・事業の内容を、バーチャートで示しています。

「実施主体」は、事業を直接行う事業主体を、国、県、市町村、民間の区分で記載し、連携して行う場合は複数の主体を示しています。民間とは、NPO、企業、諸団体などを含む組織を指し、団体名を記載する場合は略称で記載しています。

柱Ⅰ 神奈川からのエネルギー政策の転換

太陽光発電などの導入やエネルギー関連産業の集積などを促進し、地域において将来にわたり安全・安心なエネルギーを安定的に確保する神奈川をめざします。

いのちとマグネットの視点

- 🌿 エネルギーの地産地消の新しいモデルを“生む”
- 🌿 子どもたちのエネルギーを大切に作る心を“育む”
- 🌿 電力供給不足や災害から県民の暮らしを“守る”
- 🌿 エネルギー関連産業を集積し、新しい技術や雇用を“創る”
- 🌿 持続可能なエネルギーを次世代に“継ぐ”



県総合防災センター屋上の太陽光パネル

プロジェクト

1 かながわスマートエネルギー構想の推進

- 1 太陽光発電など再生可能エネルギー等の導入促進
- 2 省エネによる電力需要の縮減
- 3 EVの活用など蓄エネによる電力需要の平準化
- 4 エコタウンの整備推進

分散型エネルギー体系の構築

2 エネルギー関連産業の集積促進

- 1 エネルギー関連企業の誘致
- 2 エネルギー関連産業への参入促進
- 3 エネルギー関連ベンチャーの事業化促進

エネルギー政策転換を生かした県内産業活性化



かながわスマートエネルギー構想の推進

将来にわたり安全・安心なエネルギーを安定的に確保するため、地域において効率的なエネルギー需給を実現する、かながわスマートエネルギー構想を提唱しています。

- 三つの原則
- 原子力発電に過度に依存しない
 - 環境に配慮する
 - 地産地消を推進する

